



企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
針生 信夫

未来の美味しいを共に創る。

日本の農業は深刻な構造的課題に直面しています。農業従事者の高齢化が急速に進み、農業経営体数はこの10年間で約55万団体、年間ではおよそ5~6万団体が廃業しています。このような環境下で、国民が必要とする食料需要を、限られた生産者数で安定的に維持していくことは極めて困難だと言わざるを得ません。私たちが目指すのは、全国の農業者と共にイノベーションを起こし、AI・ロボティクスを活用し、消費者への提供価格を引き下げ、供給を安定させていく「共創」のモデルです。舞台ファームは、農業の現場に根差しながら、変化を恐れず、挑戦を続け、日本の食と農の未来を切り拓いてまいります。



主力商品「いきてるレタス」、植物工場の風景など

- 本社所在地：宮城県仙台市若林区
- 事業概要：野菜・お米の生産・販売、農産物加工・販売（カット野菜／ホール野菜）、農業経営に関するコンサルティング、農業生産・食品加工に掛かる電力関連事業
- 常時使用する従業員：150名（2026年4月時点）
- 現在の売上高：38.9億円（2025年6月期）
- 法人番号：5370001013331
- Web：https://butaifarm.com/

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

「食料安定供給企業」を目指し、年率約27%の成長を基盤とし、2029年に売上高100億円を通過する。その後は年率15%での成長を基盤とし、2033年に売上高200億円を達成する。

課題

- ①AI/ロボティクスの活用：省人化・生産性向上・高品質な製品製造のために、AI/ロボティクス等の先端テクノロジーを駆使する。
- ②商品開発力の向上：消費者嗜好の変化を読み取り、マーケットに合わせた商品を開発する。
- ③人材確保と教育体制の構築：海外人材など現場人材の採用を進め、適切な教育体制を構築する。
- ④電力の安定供給：工場運営において大きなコストとなる電力を営農型発電により供給し、ランニングコストを低減する。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①米事業の展開：農業公社による農地集約と、農法のフランチャイズ展開により、全国各地で大規模な米生産を実現し、米の安定供給を達成する。
- ②野菜加工事業の展開：野菜加工工場の拡張により、多様かつ長期間の保存が可能な食品の安定供給を達成する。
- ③植物工場事業の展開：植物工場の拡張により、気候変動に左右されない原菜供給の安定化を達成する。
- ④グリーンエネルギー・AI・ロボティクスの推進：上記3つの事業領域を支えるために、グリーンエネルギー（営農型発電）によるエネルギーの安定供給、AI&ロボティクスによる事業全体のデジタル化を推進する。

実施体制

- ①AI/ロボティクスの活用体制構築：AI/ロボティクスを活用できる人材の採用・育成ならびに先端技術を持つ企業との協働。
- ②商品開発部門の強化：顧客視点を徹底したMRの実施。
- ③人材確保・育成体制の強化：現場を支える現場人材の採用と育成体制の強化。
- ④電力供給体制の構築：AI/ロボティクスの活用による現場作業の効率化ならびに農業×テクノロジーの新規事業創出。

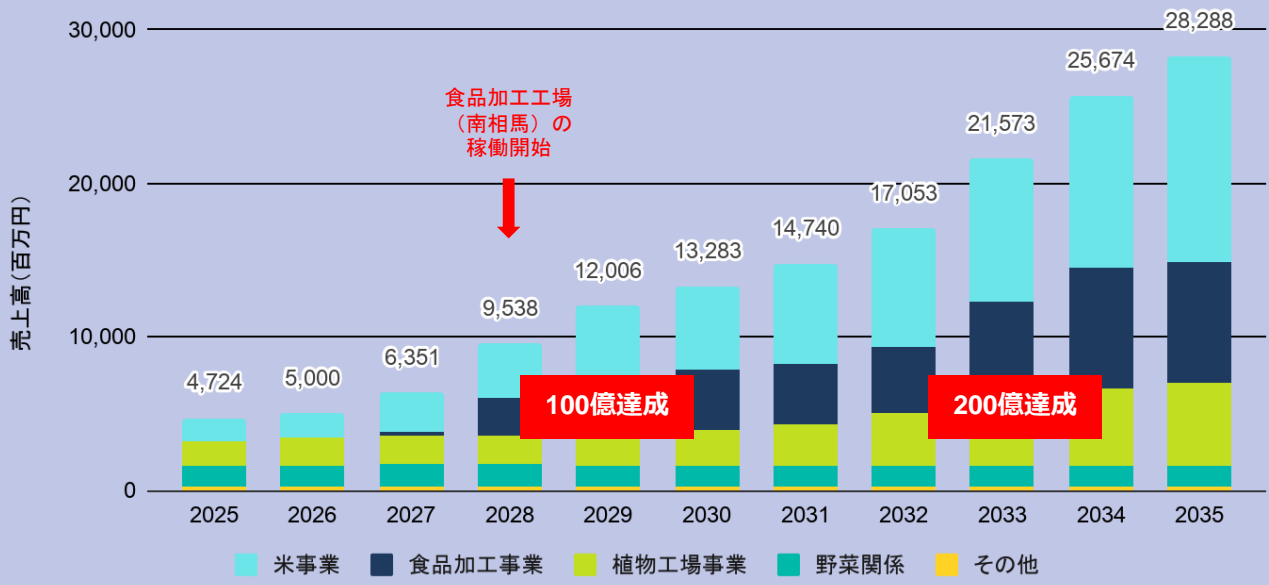
※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の目標と構想

食料安定供給モデルを全国展開する。

「米」「食品加工」「植物工場」の3事業ならびに各事業に不可欠なエネルギーを供給する「グリーンエネルギー」（営農型発電）の食料の安定供給モデルを拡張・展開し、2029年に売上100億円、2033年に売上200億円を達成する。

舞台ファーム売上高想定



米事業



気候変動に対応した高温多収の種籾供給による農家支援、農業公社による各地の農地集約、低コスト大量生産の農法フランチャイズによる大規模生産、米卸企業と連携した販売価格の安定化により、各地で安定した米の供給を行う。

食品加工事業



育苗施設・集荷拠点・冷凍食品加工の機能を持った複合園芸施設において、種苗供給による地域農家の営農支援、消費期限が短いという生鮮野菜のネックを解消する冷凍食への加工を行うことにより、地域貢献と食品需給の安定化を達成する。

植物工場事業



気候変動・農業人口の減少という課題に対して、閉鎖環境での栽培・全工程の自動化による省人化といった解決策を提供する植物工場のモデルを拡張し、営農型発電による電力自給・樹脂ボイラーの導入などエネルギーコストを極限まで抑えた生産モデル構築を行う。

グリーンエネルギー



農業に不可欠なエネルギーの供給・耕作放棄地の増加に対する土地活用・売電による農家の収入増加などを達成するグリーンエネルギー（営農型発電）のモデルを拡張し、工場への電力供給・再エネ需要への対応など多方面への拡大を進める。

舞台ファームのアプローチ

食卓を支え、社会を支える。

舞台ファームは、サプライチェーンの川上から川下まで通貫した生産体制と、自治体など外部機関との連携体制により、食卓への食料安定供給・農業を通じた社会課題解決に取り組む。

